

授業作り	重点	個別探究を支える基礎的・基本的な言語能力や考えるための技法の定着とともに、学習の目標を達成するための協働的な学習活動の充実を図り、「自分発—みんな経由—自分行き」の授業づくりを目指す。
環境作り		モジュールの時間や家庭で学習をする際、デジタルドリルで基礎的な学習内容の復習に取り組むことができるようにするとともに、教室でミニホワイトボードや移動式ホワイトボードを活用して考えの視覚化を図り、協働的な学習を推進できるようにする。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		①国語では、とめ・はね・はらいや書き順を意識して正しい文字を書くことができるようにする。 ②算数では、数の構成について理解できるようにする。	①ひらがなプリントのお手本を丁寧になぞって書くように指導を重ねる。 ②具体物や数ブロックなどの半具体物を使って数のまとまりを作り、問題を考える学習活動を設ける。
2 学 年		①国語では、漢字や身近なことを表す言葉を正しく使って、自分の意見や考えを伝えることができるようにする。 ②算数では、数の意味や表し方、立体の性質について理解できるようにする。	①自分が書いた文章を読み返して間違いに気付くことができるように指導するとともに、友達の記事のよいところを見付ける学習活動を設ける。 ②具体物の効果的な活用を図り、折り紙を折って分数で表す学習活動や、箱の形を観察して面の形や頂点の数等を調べる学習活動を設ける。
3 学 年	<p><b>【国語】</b> 新宿区学力調査において、文章を読んで考えたことを表現する「活用」が区平均を7ポイント以上下回っており、自分の考えを表現する力を育てる必要がある。</p> <p><b>【算数】</b> 新宿区学力調査において、算数全体で区平均を3.7ポイント下回っている。「数と計算」では2.2ポイント、「図形」では、区平均を4.4ポイント下回っており、加法や減法、乗法等の基礎的な学習内容及び図形の基礎的な知識の定着を図る必要がある。</p>	①漢字の正しい読み方や書き方を習得できるようにする。 ②説明的文章の内容についての理解をもとに、自分の考えをまとめることができるようにする。 ③3位数、4位数の加法・減法などの計算の仕方や、二等辺三角形や正三角形の性質等、基礎的な学習内容を理解できるようにする。	①モジュールの時間で新出漢字の読み方や書き順を全体指導するとともに、デジタルドリルを活用した個別的な繰り返し学習を推進する。 ②説明的文章における学習のまとめとして、分かったことや考えたことを伝え合う活動を設ける。 ③デジタルドリルの課題配信機能を活用して、学習した内容を家庭で復習できるようにする。
4 学 年	<p><b>【国語】</b> 新宿区学力調査において、国語全体では区平均を1.6ポイント上回るが、「漢字の書き」では3.9ポイント、「文学的な文章」では0.9ポイント、正答率が区平均を下回った。</p>	①文学的文章を読む際に単元を通して追究する課題をもち、読み深めることができるようにする。	①児童の初発の感想をもとにした学習計画を立て、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像する学習活動を設定するとともに、感想を文章で表現する際、日常的に使う漢字を正しく使えるように指導する。

	<p><b>【算数】</b> 新宿区学力調査において、算数全体では、区平均を1.9ポイント上回るが、「式による表現」では区平均を上回っているものの、「平面図形」に関する正答率が70ポイント台とやや低い傾向にあった。</p>	<p>②説明的文章を読む際に本文を根拠とした自分の考えをもち、伝え合うことができるようにする。</p> <p>③正しい式の書き方を知り、立式を通して自分の考えを説明したり、演算決定の根拠を示したりすることができるようにする。</p> <p>④図形ごとの特徴を理解し、正確に作図することができるようにする。</p>	<p>②ディスプレイ型電子黒板を活用して根拠となる本文を全体で共有し、考えたことを書いたり読み合ったりする学習活動を設定する。</p> <p>③計算して正しい答えを求めただけでなく、多様な解き方を考えるとともに、立式の根拠について言葉で説明する学習活動を設ける。</p> <p>④平行四辺形、ひし形、台形を構成する要素である辺を取り上げて、平行の位置関係を捉える学習活動を設ける。</p>
5 学 年	<p><b>【国語】</b> 新宿区学力調査において、国語全体では区平均より2.2ポイント高い。しかし、「言葉の特徴や使い方」は6.1ポイント区平均より低く、漢字の読み・書き、文章を書く力をさらに伸ばす必要がある。</p> <p><b>【算数】</b> 新宿区学力調査において、算数全体では区平均より0.9ポイントとわずかに低い。個人差が大きく特に「平面図形」と「円球」の理解が不十分であった。</p>	<p>①相手や目的を意識した言い回しや文章構成を考えて、文章を書くことができるようにする。</p> <p>②話す・聞くに関して、スピーチや報告など多様な学習活動を取り入れ、自分の考えが伝えることができるようにする。</p> <p>③図形を構成する要素や図形の性質について、筋道を立てて考えるよさに気付くことができるようにする。</p>	<p>①教科書本文や例文等を活用し、目的や意図に応じて事実や感想、意見とを区別して書くことを指導する。</p> <p>②朝の会や帰りの会で目標や振り返りをスピーチする時間を設けるとともに、資料を使って分かりやすく伝えることを指導する。</p> <p>③四角形の内角の和等を求める際に、学習チーム(班)で多様な考えを共有し、協働的に課題解決できる学習活動を設ける。</p>
6 学 年	<p><b>【国語】</b> 新宿区学力調査において、全体では区平均を0.8ポイント上回っているが、叙述をもとに自分の考えを表現する「活用」が1.4ポイント、「言葉の特徴や使い方」の正答率が2.8ポイント区平均を下回った。</p> <p><b>【算数】</b> 新宿区学力調査において、算数全体では、区平均を3.9ポイント上回っているが、「分数の計算」が2.2ポイント下回っている。</p>	<p>①文章によって自分の意見や考えを表現することができるようにする。</p> <p>②相手の反応を踏まえながら、自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>③小数の乗法や除法の考え方を基にして、分数の乗法や除法の意味について理解できるようにする。</p>	<p>①定期的に短作文の宿題に取り組み、自分の考えや経験を文章に表す活動を増やす。</p> <p>②授業中のペア学習・小グループ学習を設定し、友達と意見を交流する頻度を高めるとともに、友達の考えに対する共感的態度の大切さについて指導する。</p> <p>③小数や整数と同じように交換法則、結合法則、分配法則を用いて計算できることに着目させ、筋道を立てて計算の仕方を考えるよう指導する。</p>
特 別 支 援		<p>①学習面や行動面で特別な教育的支援を要する児童に対して、実態に応じた適切な手だてを講じる。</p> <p>②学級において、まなびの教室と連携した効果的な指導を行う。</p>	<p>①「個別指導計画」や「校内生活支援シート」を活用して、家庭とも連携して詳細な実態把握をもとにしたユニバーサルデザイン等の支援をする。</p> <p>②まなびの教室における指導記録を踏まえた学習指導を行う。</p>